

わが校区のじまん「松山大成塾」～小中連携～

●「松山大成塾」とは

松山領主・茂庭氏が創設した学問所「大成館」にあやかって名付けた「松山大成塾」は、松山中学校区内の強い小中連携を目的としたプロジェクトです。

I 目指す児童生徒の姿

- ① 主体的に学び、知力を高める児童生徒
- ② 互いに思いやり、協働し合う児童生徒
- ③ 夢やあこがれを志に高め、自己実現に努める児童生徒

2 活動内容

中学校区内の課題解決に向けて右の図の3つのセクションを設定し、主に次の活動を行っています。

学力向上・特別支援セクション

- ロイロノートの活用 ○指導主事訪問授業参観
- 特別支援担当・研究主任同士での情報交換

生徒指導セクション

- 3校合同メディアコントロール（家庭学習・家族交流）
- 配慮の必要な児童生徒の情報共有

防災・交流セクション

- 合同引渡し訓練 ○羽黒まつり ○職場体験
- ふれあいコンサート ○小6オープンスクール

3 活動の例

(1) 第2回「松山大成塾」(R7.11.27) の様子



「総会 塾頭挨拶」



「授業参観 下伊場野小学校（体育科）」



「セクションごとの話合い」

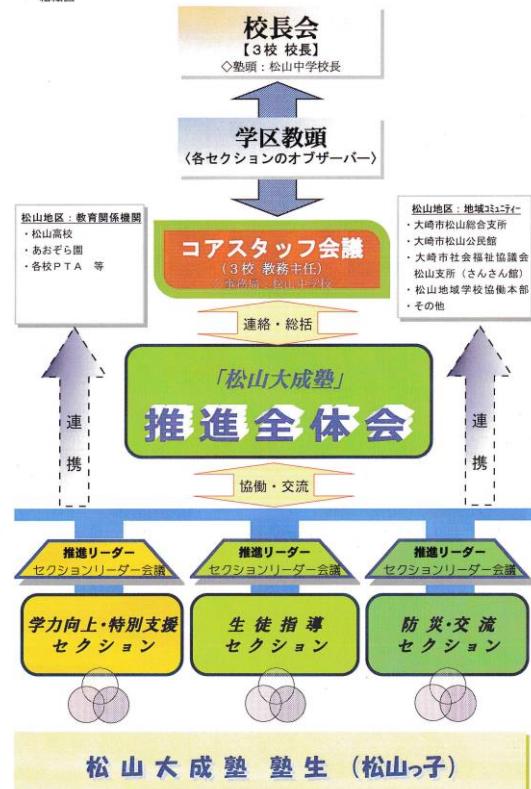
(2) 小中ふれあいコンサート(R7.11.5) の様子 小学生と中学生の憧れ・憧れられる心温まる関係

4 次年度に向けて

- 基礎学力の定着 ○定期的な情報交換（クラスルームを活用した小中連携）
- ロイロノートの効果的な活用 ○メディアコントロールの取組の更なる改善 ○水難避難訓練の改善

大崎市立松山小学校
大崎市立下伊場野小学校
大崎市立松山中学校

組織図



松山大成塾 塾生 (松山っ子)